

平成28年度における神奈川県観光振興計画の取組状況について

※ アンダーラインが記してある箇所は、計画改定後に開始した新規事業。

1 取組の概要

2015（平成27）年度末でこれまでの計画の計画期間が満了したことから、観光をめぐる環境の変化や観光の動向に対応した観光振興施策を総合的かつ計画的に推進するため、昨年3月に、2016（平成28）年度から2018（平成30）年度を計画期間とする、新たな観光振興計画を策定した。

今年度は、掲げた目標達成に向けて着実に計画を推進している。

2 計画の目標と進捗状況

(1) 入込観光客数（暦年）

入込観光客数を毎年400万人ずつ増やし、2018（平成30）年には2億人とすることを目標とする。

	2014(平成26)年	2015(平成27)年	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
目標	(1億7,600万人)	(1億7,800万人)	1億9,200万人	1億9,600万人	2億人
実績	1億8,410万人	1億9,297万人 〈確報〉			

(2) 観光消費額総額（暦年）

観光消費総額を毎年1,000億円ずつ増やし、2018（平成30）年には1兆5,000億円とすることを目標とする。

	2014(平成26)年	2015(平成27)年	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
目標	(-)	(-)	1兆3,000億円	1兆4,000億円	1兆5,000億円
実績	9,600億円	1兆990億円 〈確認中〉			

(3) 外国人旅行者の訪問者数（暦年）

県内への外国人旅行者の訪問者数を毎年9万人ずつ増やし、2018（平成30）年には201万人とすることを目標とする。

	2014(平成26)年	2015(平成27)年	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
目標	(126万人)	(136万人)	183万人	192万人	201万人
実績	165万人	223万人	231万人 〈速報値〉		

※ ()は前計画（2013（平成25）年度から2015（平成27）年度）の目標値

3 平成28年度の主な取組の実施状況

基本施策1 魅力ある観光地の形成

(1) 観光資源の発掘・磨き上げ

ア 新たな観光の核づくり促進交付金

「新たな観光の核づくり」構想において先導的な役割を果たすと認められる事業について、その事業費の一部を県が負担することにより、地域の主体的な取組みを促進している。

○ 事業内容

(ア) 城ヶ島・三崎地域

- ・回遊性向上に向けた導線整備(㈱三浦海業公社) (2月に整備完了)
- ・城ヶ島西部景観整備に向けたデザインづくり(認可地縁団体城ヶ島区) (3月中に整備完了予定)

(イ) 大山地域

- ・粋な「こま参道」整備事業(伊勢原市・大山観光振興会) (3月中に整備完了予定)

(ウ) 大磯地域

- ・「オブジェ」がつなぐ、大磯まちあるき(大磯町) (3月中に整備完了予定)



鳴立庵周辺整備

イ 産業ツーリズムの推進

県、横浜市、川崎市及び立地企業、観光事業者等で構成する「京浜臨海部産業観光推進協議会」が主体となって、産業観光を推進している。

- ##### (ア) 産業観光クルーズ船「かなもえ号」を活用したクルーズツアーの実施
- (6月30日) 35名参加

- ##### (イ) 「かなもえ 産業観光編『見学のススメ』」を活用した教育旅行誘致
- (8月9日～10日)

- ・本県を訪れた富山県中学校教員を対象にプロモーションを実施

- ##### (ウ) 産業観光シンポジウムを麒麟ビール(㈱横浜工場)で開催
- (10月25日) 72名参加

テーマ 京浜臨海部における産業観光の魅力について
多角的に考える

- ##### (エ) 産業観光ツアーの実施 (12月2日) 21名参加

- ・横浜でお得に巡る4大体験見学ツアー

コース 東京ガス横浜ショールーム(料理ショー見学&試食、施設見学)、三菱みなとみらい技術館(見学 ガイド付き)、横浜ベイホテル東急(神奈川県産食材を使ったランチ)、帆船日本丸(見学)、ピア日本丸棧橋(「かなもえ号」乗船)、麒麟ビール横浜工場(見学、試飲)



産業観光ツアーの様子

- ・春休みに親子で産業観光を楽しむツアー（3月28日開催予定）
コース ANA機内食工場（見学・昼食）、羽田沖クルーズ
（記念撮影）、横浜ふかり栈橋

(オ) ネットワーキングの開催（3月15日）

構成団体による施設見学、意見交換

ウ 商店街ツーリズムの推進

商店街や周辺の観光スポットを巡る商店街観光ツアーを実施

（3月15日現在 25件 参加者総数 664名）

- ・さくらの街『弘明寺』散策ツアー（4月1日）
- ・アメリカの雰囲気を感じる本牧商店街うんちくツアー（4月2日）
- ・片瀬江の島・鎌倉ツアー 江の島・鎌倉の魅力発見！
（4月11日、18日、19日）
- ・箱根宮城野の史跡探訪ツアー（5月10日）
- ・箱根仙石原の歴史・文化と食を楽しむツアー
（5月23日、30日）
- ・湯河原商店街ツアー（6月3日）
- ・大山詣りと伊勢原商店街散策ツアー（6月4日）
- ・箱根塔ノ沢歴史散策ツアー（7月11日、15日）
- ・横須賀商店街ツアー（7月16日）
- ・藤棚シネマ商店街ツアー（8月24日）
- ・どぶ板通り★ハシゴ酒ツアー（9月1日）
- ・落花生掘り取り観光とはだの商店街巡りツアー（9月18日）
- ・願い事が叶うまち、川崎大師商店街ツアー（10月16日）
- ・箱根宮ノ下商店会うらさんぽツアー（10月17日、21日）
- ・葉山の朝市と商店街ツアー（11月6日）
- ・大山詣り伊勢原商店街ツアー（11月6日）
- ・こども歌舞伎とフリマを楽しむ天王町商店街ミニツアー（11月20日）
- ・ハマの台所！ 横浜中央市場通り商店会ツアー（1月23日）
- ・民家園通り商店会ツアー（2月19日）
- ・「大人の賛歌」逗子の商店街巡り（2月21日）



ツアーの様子

（伊勢原駅前中央商店会）

エ 第7回かながわ観光大賞の表彰

観光客の増加や地域活性化等に大きく寄与した事業者・団体を表彰した。

(ア) 募集期間 8月29日から10月7日まで

(イ) 応募件数 15件

(ウ) 表彰者

大賞：1件

優秀賞：1件

外国人観光客奨励賞：2件

審査員特別賞：5件



第7回かながわ観光大賞 表彰式

(2) 戦略的プロモーションの推進

ア 集中観光キャンペーンの実施

県、市町村、各観光協会、民間事業者等で構成する「神奈川集中観光キャンペーン実行委員会」が主体となって、観光キャンペーンを県内外で共同して実施した。

(ア) P R 媒体の作成

- ・観光ガイドブック「クルップ」の発行（6月） 10万部作成

(イ) 観光キャンペーンの実施

各種イベントにおいて、ポスターの掲示や、パンフレットの配布等により来場者に観光P Rを実施

- ・2016サマーフェスティバル in 海ほたる（8月4日）
- ・やまなしリニアフェス2016（8月26日～27日）
- ・横浜高島屋「第32回かながわ名産展」（8月31日～9月5日）
- ・横浜新都市プラザでの観光キャンペーン（10月12日～13日、1月25日～26日）
- ・イオン「神奈川再発見フェア」（10月15日～16日）
- ・地方銀行フードセレクション2016（11月8日～9日）
- ・共同観光キャンペーンinアピタ長津田（12月10日）
- ・C P +2017（2月23日～26日）など

(ウ) その他

- ・花フォトコンテストの開催（平成27年12月～平成28年5月）
- ・かながわ味わい弁当の販売と連携したプロモーション(年5回)

イ 箱根プロモーションの実施

横浜高島屋で実施した「第32回かながわ名産展」において、大涌谷写真展示を開催したほか、「2016サマーフェスティバル in 海ほたる」、「やまなしリニアフェス2016」、「横浜新都市プラザでの観光キャンペーン」、イオン「神奈川再発見フェア」及び「県のたより12月号」において、箱根ロープウェイ全線の運行再開をP Rした。



全線運行を再開した
箱根ロープウェイ

(3) 受入環境の整備

ア 第2回 高校生 外国人「おもてなしアイデア」コンテストの実施

松蔭大学、東海大学、文教大学、横浜商科大学及び神奈川県で構成する「かながわ観光大学推進協議会」が主体となって、高校生ならではの感覚で「かながわの魅力」を発見し、自由な発想で外国人の観光客や友人を「おもてなし」するアイデアを募集し、11月26日に表彰した。

(ア) 募集期間 9月1日から9月30日まで

(イ) 応募件数 144件

(ウ) 表彰者 25件

最優秀賞1件、優秀賞1件、アイデア賞2件、特別賞1件、チャレンジ賞20件



第2回コンテスト 表彰式

イ ボランティアガイド等の育成（平成28年11月補正予算事業）

(ア) 「神奈川歴史観光シンポジウム」の開催（3月4日）

歴史観光をテーマとして、地域で活動するボランティアガイドや、観光ガイドに興味がある方を対象としたシンポジウムを開催した。

(イ) ボランティアガイドによるモニターツアーの実施（3月29日、30・31日）

ウ 神奈川県観光客受入環境整備協議会の設置

観光客の受入環境の整備について、関係する事業者団体や学識経験者等に幅広く協議していただくため、「神奈川県観光客受入環境整備協議会」を設置し、1月26日に第1回協議会を、2月24日に第2回協議会を開催した。5月のとりまとめに向けて、協議会を合わせて6回程度開催する予定である。

<協議する事項>

(ア) 観光客の受入環境を整備するための具体的な事業の内容と経費の総額

(イ) (ア)の受入環境整備事業を実施する上での行政（県・市町村）と民間事業者の役割分担や連携方策

(ウ) (イ)の役割分担等に基づき、行政（県・市町村）が行う受入環境整備事業の財源を確保するための方策

基本施策2 外国人観光客の誘致促進

(1) インバウンドツアーの企画・商品化の促進

外国人目線による観光資源の発掘や磨き上げを行い、ツアー企画の商品化を促進している。

ア 官民連携による協議会の設置

ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、国内外から観光客を誘致するため、平成28年6月13日に「神奈川県観光魅力創造協議会」を設置した。

発掘・磨き上げを行った観光コンテンツを活用した周遊ルートを提示して旅行者等にツアーの商品化などを要請し、外国人観光客等の一層の増加を図る。

(ア) 協議会の概要

<構成員> 市町村関係団体、神奈川県観光協会、旅行業団体、
宿泊関係団体、交通事業者団体、経済団体、文化団体、
農林水産団体 等 48団体 1オブザーバー（関東運輸局）

<取組内容> ① 地域の多彩な観光資源（コンテンツ）の発掘・磨き上げ
② 多様な周遊ツアーの企画・商品化の促進
③ インバウンドツアーとしての認定

(イ) 観光資源発掘セミナーの開催

目 的 魅力ある観光資源の発掘・磨き上げ
の具体的な方法の紹介

開催日 8月29日 小田原会場

100名参加

8月31日 横浜会場

224名参加



観光資源発掘セミナー（横浜）

(ウ) 第2回協議会

開催日 10月24日

内 容 ・地域の観光資源と魅力的な周遊モデルルート(案)の報告
観光資源数：385件 周遊モデルルート(案)数：123ルート
・インバウンドツアー認定指針の承認 等

(エ) 第3回協議会

開催日 1月20日

内 容 ・出前セミナーや商談会の開催結果の報告
・地域の観光資源と魅力的な周遊モデルルート(案)の報告
観光資源数：1,076件

(オ) 出前セミナーの実施

内 容 外国人有識者や留学生による現地での観光資源の検証と地域の
代表者との意見交換会

実施回数と実施箇所 30回

三浦市2回、伊勢原市3回、
横浜市3回、平塚市2回、箱根町2回、
相模原市2回、湯河原町2回、
藤沢市2回、横須賀市2回、
川崎市3回、寒川町、愛川町及び清川村（宮ヶ瀬湖周辺地域）、
茅ヶ崎市、鎌倉市、秦野市、厚木市、小田原市



出前セミナー（小網代の森）

(カ) 旅行会社向けの説明会、商談会の開催

開催日 第1回：11月30日 第2回：2月16日

内 容 インバウンド旅行会社やランドオペレーターを対象に、地域の
多彩な観光資源をコンテンツ紹介シート（日・英2言語）で説
明し、モデルルートの提示とあわせて旅行商品化を要請

参加者（第1回）

旅行会社・ランドオペレーター31社、県内自治体10市町

（第2回）

旅行会社・ランドオペレーター25社、県内自治体等12団体

(2) 神奈川県観光政策統括アドバイザーの設置

外国人観光客の動向や県の政策等の効果などを分析するとともに、県の国際
観光政策に対する助言、提言等を行う『神奈川県観光政策統括アドバイザー』
を設置し、県内への外国人観光客の誘致促進を図る。

・統括アドバイザー委嘱者 勝瀬 博則氏

(3) 外国人観光客の誘致を図るプロモーションの推進

外国人観光客の誘致促進に向けて、ターゲットとする国や地域を明確にした
上で、そのニーズを踏まえた戦略的なプロモーションを推進している。

ア 観光レップの設置

ターゲット国（中国・台湾・マレーシア・インドネシア・ベトナム）におい
て、現地の観光事情に精通している事業者（観光レップ）に委託し、現地の
メディアや旅行事業者等に対して、県内の観光情報等の提供や観光客誘致の

プロモーション活動を実施している。(10月25日より設置)

イ 海外プロモーションの実施

ターゲット国（中国・台湾・マレーシア・インドネシア・ベトナム）を中心に、観光展への出展を行うなどのプロモーションを実施している。

・中国

遼寧省大連市において、県内観光事業者とともに同市内観光関係事業者等を対象に観光セミナーを開催（11月23日、出席者：55社〔大連側〕、4社〔本県側〕）

・台湾

台北国際観光博覧会（5月20～23日、来場者数約29万人）に出展

また、台北市内で旅行会社向け観光セミナー（1月12日、15社出席）、一般消費者向け観光セミナー（1月14日、来場者数約500人）をそれぞれ実施

・マレーシア

MI TM2016（7月2～3日、来場者数約4万人）に出展

また、マレーシア人向けの旅行商品造成・販売を目的とした、マレーシア旅行会社等招請事業を実施（2月7～11日、6名参加）



MI TM2016（マレーシア）

・インドネシア

Japan Travel Fair 2016 Autumn & Winter（9月10～12日、来場者数約4万8千人）に出展

また、ジャカルタ市内で一般消費者向け観光セミナー（2月11日、81名参加）を実施

さらに、インドネシア人向けの旅行商品造成・販売を目的とした、インドネシア旅行会社等招請事業を実施（2月19～23日、5名参加）

・ベトナム

ベトナム人富裕層向けの旅行商品造成・販売を目的とした、ベトナム旅行会社招請事業を実施（10月27～30日、7名参加）

また、ハノイ市内のショッピングモールで開催されるイベントに、TBSと共同で出展（2月18～19日、来場者数集計中）

・英米

ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、増加が見込まれる欧米からの個人旅行客を意識した米国及び英国のメディア招請事業を、山梨県と共同で実施

（米国メディア招請：11月29日～12月3日、4名参加）

（英国メディア招請：12月6日～12月10日、4名参加）

ウ SNSの開設

中国人観光客の更なる誘致促進のため、中国向けSNS「weibo /新浪微縛（シナウェイボー）」を開設した。（9月16日）

また、タイ語版フェイスブックを新たに開設した。（1月26日）

エ 新たな外国語観光情報ウェブサイトの開設

既存の観光地や神奈川県観光魅力創造協議会等で発掘・磨き上げを行った観光資源、商品化されるツアーなどを効果的に発信していくため、従来の情報発信機能に加え、利用者が行きたい観光スポットを効率的に周遊するコースを提示する機能等を備えた外国語対応観光ウェブサイト『Tokyo Day Trip - Kanagawa Travel Info-』を開設した。（2月10日）

(4) 外国人観光客の受入環境の整備

県内を訪れた外国人観光客が快適に旅行を楽しめるよう、多言語化の促進、Wi-Fi環境の整備促進、おもてなし人材の育成、ムスリム観光客受入促進のための環境整備などを進めている。



ア 飲食メニューの多言語化支援システムの作成（7月開始）

イ 研修会の実施

慶応義塾大学SFC研究所イスラーム研究・ラボとの共催で「ムスリム観光客おもてなし研修会」を次のとおり開催した。

- ・ 9月21日：横浜（出席者33名）
- ・ 2月16日：小田原（出席者28名）

ムスリムフレンドリー・
レストラン・ガイドブック神奈川

ウ 無料公衆無線LAN(Wi-Fi)・急速充電器整備補助金の募集・決定

外国人観光客の受入環境整備の一環として、県内の観光協会が運営する観光案内所が、無料公衆無線LAN(Wi-Fi)又は携帯電話・スマートフォンの急速充電器を整備する場合の補助金を、3件交付決定した。

基本施策3 観光関連産業の成長促進

(1) 地域の製品の開発や販路開拓等

アンテナショップの運営による情報発信や、クラウドソーシングの活用などにより、新たな製品の開発及び販路開拓等を支援している。

ア クラウドソーシング活用型新商品開発支援事業

県内で「観光みやげ品」を販売し、かつ自社で商品開発の経験がある中小企業者を対象に、全国の消費者等から新商品のコンセプト及びそれらの用途等のアイデアを募集し、全国の消費者・生活者のアイデア・知恵を集めるウェブ上のプラットフォーム（共創コミュニティ）などで意見交換を行いながら新商品の開発を支援している。

(ア) 参加企業

- ・ 株式会社ありあけ（横浜市）
- ・ 永島農縁（横浜市）
- ・ 鈴廣かまぼこ株式会社（小田原市）
- ・ 龍門商事株式会社（重慶飯店）（横浜市）
- ・ 株式会社ラ・ルース（小田原市）

(イ) スケジュール

9月下旬～12月

・アイデアの募集

・新商品のコンセプト等策定

12月上旬～3月上旬

・試作品（または完成品等）づくり

3月中下旬

・新たな観光みやげ品の発表（予定）